

製造業のためのデータサイエンス入門

現場で活かす データ分析の基礎

データを扱う上で統計的手法は不可欠です。本セミナーでは、測定データを統計的手法によりまとめる方法、データの分析、解析の方法について事例を交えて分かりやすく解説します。

2025年

9月12日(金) 10:00~16:00
(受付 9:45~)

会場 | 島根県産業技術センター 2階
プロジェクト研究室
(松江市北陵町1番地 テクノアークしまね)

定員 | 15名(先着順)

携行品 | 筆記用具 ※パソコンは使用しません。

対象者

- 製造業に従事する方でデータ分析を始めた(始めたい)が統計学の基礎知識が不足していると感じている方

習得知識

- 統計データ分析の基礎的知識(基礎やデータの見方等)
- 平均、分散、標準偏差、正規分布、ヒストグラムなどの統計学の基礎となる用語の意味、関係
- 統計学、データサイエンスでできること

こんな方におすすめです！

- ✓ 製造現場でデータ活用を推進したい方
- ✓ データ分析に興味はあるが、統計学の基礎に不安を感じる方
- ✓ 論理的なデータ解釈と意思決定のスキルを向上させたい方
- ✓ 時系列データの扱いに興味がある方

受講条件

島根県内に事業所等を有する企業であること

県外事業所勤務の方が参加される場合は、県内の事業所の方を申込み担当者(連絡者)にしてお申込みください。

主催/申込みに関するお問合せ先

公益財団法人しまね産業振興財団 創業・人材支援課(担当:布野・新宮)
〒690-0816 島根県松江市北陵町1番地
TEL:0852-60-5117 FAX:0852-60-5116
E-mail:ihrd@joho-shimane.or.jp

協力機関/講座内容に関するお問合せ先

島根県産業技術センター 電子・電気技術科(担当:藤原)
TEL:0852-60-5138(直通)

講座内容

受講料
無料

1 データサイエンスとは

製造現場に活かす「データ活用」の基本概念

データサイエンスの定義や重要性、製造業での活用事例を紹介し、なぜ今データ分析が求められているのかを理解します。

2 統計学基礎

平均・分散から始める現場データの読み解き方

製造データの分析に不可欠な「記述統計」の基本(平均、分散、標準偏差など)を学び、数値の意味を正しく読み取る力を養います。

3 統計的仮説検定

ばらつきの中にある有意な差を見抜く技術

製造プロセスの改善や比較に用いられる仮説検定の考え方(p値・有意水準など)を解説し、判断の根拠を持つ分析力を育てます。

4 時系列データとその分析

生産ラインの傾向や変化を捉える時系列解析入門

センサーデータや稼働記録など、時間とともに変化するデータの扱い方や基礎的な分析手法(移動平均・トレンド把握など)を紹介します。

講師

瀬戸 和希 氏

島根大学 数理・データサイエンス教育研究センター
副センター長/助教、博士(理学)

専門は凸解析学・最適化理論。全学部生向けに「数理・データサイエンスの誘い」の科目を担当し、データリテラシー(データを理解し、解釈し、分析する能力)の基礎を講義。また地域貢献として高校での出前授業も行い、データリテラシーの基礎的な能力向上を目指した活動に従事している。



HPからお申込みください

申込締切

2025年9月4日(木)17:00
定員になり次第締切ります。

<https://www.joho-shimane.or.jp/purpose/human/11619>

※お申込みの際は、申込みフォームに記載の【注記】を必ずご確認ください。
※受講の決定については、申込み締切後の2営業日以内に申込連絡者様及び受講者様宛にメールにて通知いたします。
(講座開催日の2日前までにご連絡が届かない場合には、お手数ですがお問い合わせ先までご連絡ください。)